

令和8年度 大田区区民協働推進会議（第1回）

日時：令和8年4月23日（木）

場所：大田区役所本庁舎 11 階第5委

員会室

【議題】

- 1 令和8年度区民協働推進会議のスケジュール
- 2 令和8年度地域力応援基金助成事業スタートアップ助成、ステップアップ助成[新規]
審査員の選定及び審査スケジュールについて
- 3 令和7・8年度調査研究について
- 4 その他

【出席者】

委員：藤本（有）、石垣、濱住、濱、山岸委員、田畑委員、宮川委員、阿部委員
近藤委員代理上田次長

事務局：地域未来創造部長、区民協働・多文化共生担当課長、区民協働・多文化共生担当係長、
区民協働・多文化共生担当1名、協働推進アドバイザー1名

【会議要旨】

● **会議の開催**

中島会長、牛山副会長、安武委員、島田委員、近藤委員 欠席

出席者が過半数に達したため大田区区民協働推進会議運営要綱第6条の規定に基づき、会議は有効に成立。

● **令和8年度区民協働推進会議のスケジュール**

【事務局説明】

本日4月23日、第1回目を皮切りに、全5回を予定。

また、調査研究をさらに議論を深めるべく、分科会の開催を二、三回程度予定している。

また逐次、協働事業の紹介や調査研究に関する進捗報告を行う。また会議に際して、資料等は事前にメール等々で共有する。

● **令和8年度地域力応援基金助成事業スタートアップ助成、ステップアップ助成[新規] 審査員の選定及び審査スケジュールについて**

【事務局説明】

1月26日から2月25日までの間応募期間を設け、これから書類審査となる。

書類審査、面接審査を行い、次回の令和8年6月25日の第2回区民協働推進会議で、今回区長

へ推薦する候補団体を決め、7月上旬頃に最終的なスタートアップ助成、ステップアップ助成の採択団体を決定する。

● 令和7・8年度調査研究について

【事務局説明】

平成21年から助成金事業を行い、採択団体が200団体を超えている。助成金を受けてその活動がどのように発展していったか、今どのような活動をしているのか、どういった効果があったかということを団体からアンケート、ヒアリングしていく。また、活動がどうあるべきか、今後活動を持続可能にしていくためにはどういった方策・方向性であればよいか、分科会も含め機能していければよいか、といったタイトルで今回調査研究を進めていく。

議論した内容を1冊の冊子でまとめ、最終的には大田区長に手交、提言するというのが最終的なゴールになっている。

【吉澤アドバイザー】

調査概要について説明。

まず、調査手法でだが。大きく三つのことを取り組む。

1点目は文献・資料調査ということで、要は既に研究されているもの、あるいは自治体が公表している、団体が公表している資料等を調査していく。

2点目。区民活動団体へのアンケート調査ということで、これまで地域力応援基金の助成を受けた団体、延べ200程度の団体を対象にアンケート調査を実施。アンケートに回答した団体の中で、何か特筆すべき団体、あるいは特徴のある団体等があれば、その中から幾つかピックアップをしてヒアリング調査を行う。この3点で調査を進めていく。

まずアンケート調査では、助成金を使ってどういった実績、あるいは効果があったのか、実際申請のときにどういう課題があったのか、活用する際にどういう課題があったのか、書類が分かりにくいとか、出す書類が多過ぎるなどといった課題について調査を行う。

そのほか、その助成期間が終わった後の状況について。活動が継続できたのか、あるいはできなかったのか、それは何が原因でできなかったのかということについて、それがお金の問題なのか人の問題なのか、活動している地域の環境が変わり、それに対応できなかったなどあるかと思うので、そのあたりをアンケート調査で探っていく。

ヒアリング調査項目につきましては、上記アンケート調査を回答した団体の中で、さらに直接訪問し深掘りするような形で、ヒアリング調査を予定している。

分科会ではアンケートの素案、それからアンケートの結果、ヒアリング、何をヒアリングするか、あるいはヒアリングした結果について逐次共有。そこで議論を深めていき、さらに本体会議で結果を報告して、また議論を深めていく。

【事務局説明】

基金を出す目的や、基金を受けて団体が活動し、どうやって地域に広がっているのか、活動がどうやって継続していくかということが非常に重要だと考え、地域の未来にも触れながら議論を深めていくことができればと考えている。

そのために、地域力応援基金助成事業、この区民協働推進会議、区民協働の事業を通して、連携・協働、地域というものに対するものを委員それぞれの思いで語っていただきながら、この調査研究というのを深めていきたい。

【田畑委員】

今回が初めての調査になるのか。それとも過去にも同様の調査を行ったことがあるのか。

【事務局説明】

平成30年頃に、一度基金の制度改正を行うにあたり、200団体に調査を行っている。

しかし、今回は基金の改正が主の目的ではないため、改めて原点に立ち返り、これまでの助成金での活動というところにフォーカスしてヒアリング・アンケートを行っていくという趣旨になっている。

【事務局説明】

テーマとして重きを置いているのが、いわゆる持続可能な地域活動。地域の中で各種団体の高齢化、担い手不足というのは共通の課題となっている。そのような中で、地域活動がいかに地域に貢献し、またそれが継続できるのかといった方向性が調査の中で見いだせればなというふうに思っている。それが答えの一つというわけではないと思うが、一助になると考えている。

特にキーワードは連携協働だと考える。この会議体の委員は、共通して地域の方・地域の団体である。青少対の委員ということで石垣委員、事業者からということで城南信用金庫、日本生命㈱、また商店街連合会から阿部副会長に来ていただいている。それぞれの立場、それぞれの経験の中で調査研究についてもご意見いただきたい。

● その他

【事務局説明】

令和8年度第2回は6月25日におおた国際交流センター、通称Minto Otaで予定している。